

# 「目黒巻きで考える

# 我が家の防災行動計画」

## 第2回 防災講座「自助とは」

― 災害発生から3日間の行動をシミュレーション ―

9月13日(土)、第2回防災講座が開催され、約50名の方が参加されました。今回は6人一組のグループディスカッション形式で以下について話あいました。

◆ 想定地震:関東大震災級の直下型地震

◆ 想定震度:6強◆ 発生時刻:18時



### 1、「震度6強」の揺れによって私たちの身の回りにどのような影響があるのか?

#### ①人の体感・行動



- ・立っていることはできず、這わないと動けない
- 固定していない家具が移動し、倒れるものが多くなる

#### ②屋内外の状況



- 壁のタイル、窓ガラスの破損、落下する建物が多い。
- 補強されていないブロック塀がほとんど倒れる

#### ③木造住宅の状況



#### 耐震性の低い住宅(旧耐震基準:昭和56年5月31日まで)

- 壁などにひび割れや亀裂がはいるものが多くなる
- ・傾くものや倒れるものが多くなる

#### 耐震性の高い住宅(新耐震基準:昭和56年6月1日以降)

- ・壁などのひび割れや亀裂がみられることがある
- ・壁や柱にひび・亀裂がみられることがある

#### ④地盤・斜面の状況



- 大きな地割れが生じることがる
- ・斜面地などでは、崖崩れが多発し、大規模な地滑りや山 全体の崩壊が発生することがある

### 2、目黒巻を作る

「目黒巻き」とは<u>災害発生からの流れを時間軸で追いながら、その時の自分自身の行動や状況を具体</u>的に災害イメージとして描くためのツールです。

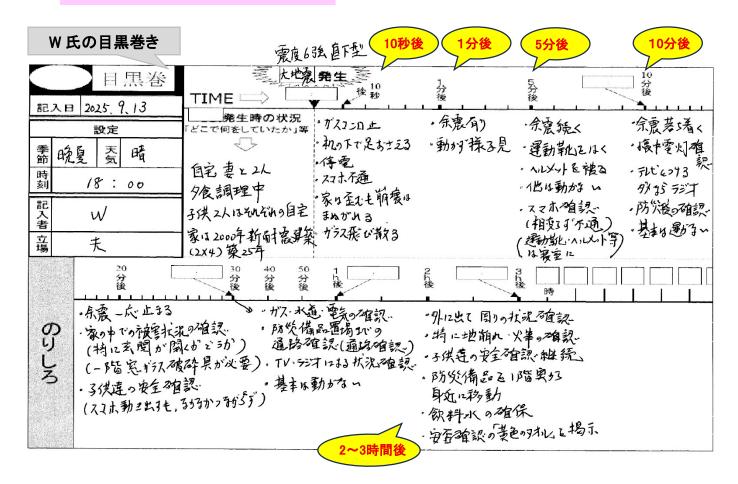
自分の家族を主人公として、地震発生から

10秒後 ⇒ 1分後 ⇒ 5分後 ⇒ 10分後 ⇒ 2~3時間後 ⇒ 1日後 ⇒ 3日後

までの行動を用紙に書き出し、話し合いながらワークを通して、以下のものに気づくことができました

- ◆『事前に準備しておくべきこと』
- ◆『家族間で共有しておくべき情報』
- ◆『行動の優先順位や判断のズレ』





次回講座(12月13日)は、野田講師による「作業手順のポイント」について深掘りします。実際の流れを確認しながら、理解をより深める内容です。

防災たよりに関するお問い合わせは●氏名●電話番号●お問い合わせ内容を記入のうえ下記自治会代表の専用メール、またはホームページ「お問い合わせ」 にご連絡下さい。担当より折り返し連絡させていただきます。

Mail: daihyo@chiyogaoka-yurakuj.net

